

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		児童デイサービスえがお第2				公表日	令和8年2月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		チームで立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			違った視点からも行うべき。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハット研修を行い事故防止に繋げている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止研修を定期的に行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 児童デイサービスえがお第2

公表日 令和8年2月16日

利用児童数

10

令和8年1月20日

回収数 10

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	3	1	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				困りごとを共有し、対応してもらえていると感じます。	今後もしっかりと情報共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				曜日で利用所が違いますが、曜日を伝え「今日はえがお」と言い嬉しそうにします。	今後も利用児童が通所を楽しみにしてくれる事業所を継続できるよう取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				とても楽しみにしています。	有難いです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイサービスえがお第2		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との意思疎通や情報伝達を行うことが出来ている。	その日の様子や変化を送迎時や電話で行っている。またlineでも写真を保護者に送信している。	引き続き継続して取り組んでいく。また、写真と一緒にその日の様子も文章で送る。
2	子どもの活動等のスペースを十分に確保している。	個別学習が出来るように個室がある。また、クールダウンできる個室もある。また、庭もあるため短時間でも戸外で体を動かしたり気分転換が出来たりする。	今後も個室等を使用して、児童一人ひとりが安心して過ごせるよう環境整備を行う。また、庭で遊ぶ際は少人数で使用する等、安全確保を行う。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害発生時(避難訓練)に備え訓練をしているが、その他の訓練が行われていない。	年に2回(地震や火災)訓練を行っているが、引き渡し訓練や防犯訓練を実施していない。	事業所内で必要な訓練を検討し、実施していく。訓練の際は緊張感を持ち取り組んでいく。
2	地域交流を行う機会がない。	地域の方との交流をする場所・機会を確保することが難しい。地域清掃等を通して地域の方との交流が出来るよう実施の在り方を検討する。	地域清掃中や公園の道中等、地域の方と挨拶をする機会は多々ある。まずは、元気で明るい挨拶から取り組んでいき、地域の方との関りを増やしていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	児童デイサービスえがお第2		公表日 令和 8 年 2 月 16 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		写真等で物の位置が分かるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		室温等の環境が快適。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		提案シートがある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修が行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動プログラムを状況に応じて変えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		様々な情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			研修を行っている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 児童デイサービスえがお第2

公表日 令和 8 年 2 月 16 日

利用児童数

11 令和 8 年 1 月 20 日

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				部屋も広く、庭もあるので、色々な活動が出来ていると思う。 十分に確保されていると思う。	有効活用しながら質の高い支援を提供していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1		2	毎日しっかり子どもの様子を見てくださっていると思う。 ワンツーマンで見て頂けるのが安心できる。 適切であると思うが、その日の人数は分からない。	職員配置を充実させ、きめ細かな支援を提供していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				玩具の置き場所等、写真が貼ってある為、視覚的にも分かりやすく工夫されている。 子どもに分かりやすい環境が作られていると思う。 何度か見学に行かせて頂いたが、分かりやすく整理されていると感じた。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11				いつも清潔なので、安心して過ごせる環境だと感じる。 清潔感があり、心地よくのびのび過ごせる空間だと思う。		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				ST・OTの先生が在籍しており、相談したらアドバイスを下さったり、個別療育も行ってくださっている。 子どもに合わせた支援が受けられて満足している。 子どもに必要なトレーニングが分かった時に相談したら取り入れてくださり、本当に有難い。	今後も専門職による訓練を充実させていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				合っていると思う。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				子どもの事を理解して、子どもに合った課題を計画されている。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1			困り事あった目標を直接と電話で話して、一緒に設定してくださっている。 具体的に支援内容を設定されており、適切な支援を受けられている。	個別支援を中心に、一人ひとりに必要な支援を提供していきます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				行われていると思う。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				季節に合わせてたり等、毎回色々な活動があり子どもが楽しみ、興味が広がる工夫をしてくださっている。 子どもに合わせて工夫されていると思う。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2				9	事業所内での交流、活動のみだと思うが、それで良いと思う。 まだ、交流に参加したことがない。	地域交流は、清掃活動等を通して行っているが、不十分であるので、交流のあり方を検討していきたい。
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				入所する前に説明があった。 丁寧で分かりやすかった。		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				説明があった。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1			5	まだ参加したことがない。	毎週水曜日に家族相談日を設けているので、もう少しこちらからの発信力を強めていきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11					その日の様子、できたこと、気になる点など毎回伝えてくれる。 1日の活動を丁寧に教えて頂き、状況を把握しやすい。 Lineにて写真や文章で詳しく様子を教えてくれている。	今後も継続していきたい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				保護者相談日が毎週設けられており、希望を毎月とってくださっている。 今の所、面談は相談員のみ。	家族相談日を活用していただけるよう呼び掛けていきます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				皆さんが子どもに寄り添って関わってくださっていると感じ、安心して預けることが出来ている。 子どもに合わせた支援がされている。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	3	4	保護者同士の交流はないが、なくても困ることは特にないので、このままで良いと思う。 今の所、参加したことがない。	交流会は実施する方向で検討していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1				相談しやすいし、相談した際はすぐに対応して下さるので安心。 迅速な対応をして頂いている。 基本はラインで連絡を下さり、詳しいことについては電話をくださるので助かっている。 急な依頼や相談に対して迅速に対応して頂き助かった。	今後も、ご家族が相談しやすい環境づくりに努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					活動内容は写真でも毎回確認できるし、連絡帳や口頭でも丁寧に伝えてくださる。 配慮されていると思う。 出来ていると思うが、連絡ノートのメッセージに「見た」とサインを頂けると嬉しい。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11					必要な情報、行事予定など随時お知らせして下さるので、わかりやすい。 分かりやすく発信されている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					安心して預けている。 十分に留意されている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			1	実施できている。		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1	避難訓練が行われていて、子どもも体験出来ていると思う。 定期的に避難訓練が行われており、その様子を写真で送ってくれる。		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			2	十分な安全確保が出来ている。		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1	怪我や事故をしたことがない。 ごまかな変化も報告していただいている。 微熱等が出た時には、経過観察をして連絡をくださるので助かっている。	事業所での様子は、しっかりと要点をお伝えしています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				先生とお友達のこと大好きなようで、毎回とても楽しそうです。 子どもも親も安心して預けられている。 先生方がことが大好きと言っている。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				毎回、楽しみにしている。色々な話を楽しそうに話してくれるので、私も嬉しく思う。 お迎えを楽しみに待っている。 イベントやお出かけも多く、いつも楽しみにしている。 「明日はえがお？」と聞いてくる時があり、楽しみにしている。	今後も子どもが通所を楽しみにしてくれるような活動を立案し提供していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				子どもの成長もすぐ感じられ、えがおに通所して良かったと思うことがとても多い。とても満足しています。 大変、満足している。 お一人お一人が笑顔で丁寧。このまま放デイも利用できたらいいと思うほど満足している。 いつもとても丁寧に対応して頂き感謝している。 えがおに通い出して、登園渋りが少しずつ減ってきた。		

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童デイサービスがお第2		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・言語聴覚士・作業療法士と様々な分野の専門職が従事している。	個別支援活動を通して児童にあった支援を行うことが出来ている。毎日、担当職員が変わる為、様々な分野の専門職員と関り支援を受けることが出来ている。	個別支援活動のみでなく、引き続き日常生活でも児童にあった支援を取り入れていく。小学校に就学した際に集団で過ごしやすいよう支援を行う。
2	保護者相談を実施している為、子育てをする上での不安や悩み、子どもの様子を共有することが出来ている。	利用予定表にて保護者相談の有無を保護者に確認している。またこちらからも声をかけている。	保護者相談を実施したことがない保護者や新規の方も声をかけやすいよう、日頃からの保護者との関りを大切にしている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇中に朝礼が無い為、情報共有がしづらい。また、保育園と併用している保護者と会って話をする機会が少ない。	長期休暇中は朝からの利用児童が多い為、職員朝礼を行っていない。Lineや朝礼簿に記入をしているが、確認、周知が遅くなる。また、保育園併用児童の場合、送迎が保育園の為、保護者とはlineや電話でのやり取りになることが多い。情報共有は出来ているが、会って話す機会がない。	引き続き、朝礼簿やlineでの周知を行っていく。口頭での情報共有も徹底して行っていく。毎週水曜日の相談日を活用し、保護者の方と面談を行う。
2			
3			